

(お知らせ)

## アホウドリ新繁殖地形成事業による聳島へのヒナの帰還について (2羽目)

<環境省自然環境局 同時発表>

平成23年2月25日(金)

(財)山階鳥類研究所

小笠原群島<sup>むこじま</sup>聳島におけるアホウドリの新繁殖地形成事業(伊豆諸島鳥島のアホウドリのヒナを小笠原諸島聳島に移送し、新しい繁殖地を形成する事業(平成20年から実施))において、新たに平成20年に聳島を巣立ったヒナ1羽が聳島に戻ってきたことを2月24日に確認しましたのでお知らせいたします。当事業で聳島への帰還が確認された個体は2個体目になります。

※この事業は、(財)山階鳥類研究所が、環境省、米国魚類野生生物局、三井物産環境基金、公益信託サントリー世界愛鳥基金等の支援を得て実施しているもので、今年度が4年目となります。

### 1. 確認された個体 (足環で確認)

平成20年に巣立った個体 Y04 (3歳、雄)

(平成23年2月10日にお知らせした鳥島で確認されていた個体)

### 2. 確認された場所

聳島で飼育を行っていた場所

<参考>これまで確認された個体

○2月10日: Y01 (3歳、雄)



この件についての連絡先

(財)山階鳥類研究所 (270-1145 我孫子市高野山115)

事務局広報主任 平岡考

電話: 04-7182-1101 (17時以降: 04-7182-1104)、Fax: 04-7182-1106

メール: [hiraoka@yamashina.or.jp](mailto:hiraoka@yamashina.or.jp)

山階鳥類研究所ウェブサイト: <http://www.yamashina.or.jp/>

< 聳島個体の写真 >



\*右が帰還したヒナ (Y04 3歳 雄)。左の個体は今年移送したヒナ。

写真提供：(財) 山階鳥類研究所